



1

1 二井上邸の外観。人通りの多い道路に面した玄関への視線をカットするために、杉板を使用した目隠しを正面に設置。柔らかな色合いの外観のアクセントにも。駐車場はたっぷり確保し最大5台まで停めることが可能。2 駐車場から玄関への動線もスムーズ。目隠し壁の内側には郵便受けを設置。雨の日にも濡れることなく郵便や新聞を取り出せる。3 吹き抜けにある窓から明るい日差しが降り注ぐリビングコーナー。掃き出し窓の外にはウッドデッキが広がり、子どもたちのプール遊びやBBQなど、お庭リビングとして大活躍。4 L字型のLDKは、テレビが大好きという実咲さんのリクエストに応えキッチンに立っているときもテレビを見ることができるレイアウトに。ソファ越しに視聴できるジャストな位置に壁掛けテレビを取り付けた。



2



3



4

未来を見据えたプランニングで居心地抜群のリビングを実現

今年、岸建工で家を建てた二井上さん一家は貴司さん、実咲さんご夫妻に、音澄（おと）君、和玖（わく）君の4人家族。完成見学会で目にした創造性の高さやスタッフの家づくりへの前向きな姿勢に好印象を抱き同様に依頼。担当スタッフは丁寧なヒアリングで二井上さん家族の要望や好みを細部まで吸い上げてくれたといいます。

北側は交通量が多い道路に、南側は人の出入りが多い駐車場に面する二井上邸。駐車場に接する扉は通常より高く設定し、リビングへの視線対策を万全に。駅に近い立地なので、将来近くに高い建物が建つ可能性を考慮するとともに、環境に左右されない日当たりを確保しようと提案されたのがリビングの吹き抜けと天井近くに設けた大きな窓でした。パーチカルブラインドを開けていても高い位置にある窓が光を取り込み一年中明るく心地よいリビングに。そのほか、子ども部屋がある2階スペースにつながり、家族の存在を感じられる吹き抜けや、開放感あふれる実際の面積以上の広さを感じることが出来るウッドデッキも家族のお気に入り。「この家に住んでうれしい」と音澄くんのお墨付きです。

丁寧なヒアリングで納得の家づくりをサポート 家族と同じ目線に立ち、末永く快適な住まいを提案

きしけんこう
岸建工 Kishikenkou



二井上さんファミリーが家で過ごす時間のほとんどを過ごすというリビング。空間をぜひたくに使用した吹き抜けと大きな窓からたっぷり自然光が注ぐ。

◆ショールーム



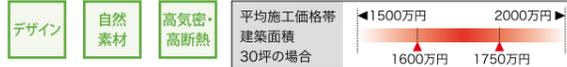
施主の理想を高い技術で実現へ セレクトショップのような建築会社を目指して

今年3月、姫路市飾磨区三宅に新社屋をオープンした岸建工。2階に併設したショールームにはデザイナーズ住宅を得意とする同社らしさが光るハイセンスな空間が広がります。施工例はもちろん同社が手掛けたオリジナルの商品も展示。施主の要望に向かって努力する家づくりへの姿勢を体感できるはず。1970年の創業以来新築からサービス付き高齢者住宅まで幅広い建物を手掛け、培ってきたノウハウと技が支える家づくりの可能性を感じてみては。

岸建工（株）

☎0120-191-173

岸建工 姫路

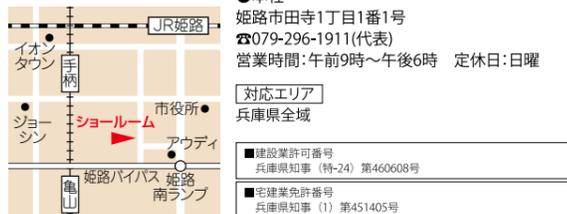


●ショールーム
姫路市飾磨区三宅1丁目168
☎079-240-7462(代表)
営業時間:午前9時~午後6時 定休日:水曜

●本社
姫路市田寺1丁目1番1号
☎079-296-1911(代表)
営業時間:午前9時~午後6時 定休日:日曜

対応エリア
兵庫県全域

■建設業許可番号
兵庫県知事(特-24)第460608号
■宅建業免許番号
兵庫県知事(1)第451405号



1 耐久性のある素材で仕上げたウッドデッキ。リビングからフルフラットにつながり空間の広がり演出 2 3 自宅でピアノ/教室を開いている実咲さん。玄関横には防音のレッスン室を用意。すぐそばに手洗いとトイレを設け、プライベート空間と上手に区別する工夫も 4 玄関には大容量のシューズクローカー。扉を開けると壁と一体化し、すっきりした玄関に 5 主に子どもたちの昼寝に利用している和室。リビングとの壁に小さな窓を設け中の様子が分かるように設計。キッチンから気配を感じることができ光と風を効率よく取り込める

岸建工 一級建築士 岸正人さん



施主さまとの会話を大切に、どんな要望にも妥協せず最大限努力することをモットーにしています。「イメージを実現してくれる会社が見つからない」などの悩みも気軽に相談してください。メリットだけでなく、費用やデメリットも包み隠さず納得されるまで説明します。二人三脚で理想の家を実現させましょう。随時開催している完成見学会では弊社の家づくりへの姿勢を感じていただけたと思います。ぜひ来場ください。

●ここに注目!

家の中に庭園!? 和室へつながる石畳が趣ある雰囲気演出



岸建工の完成見学会に参加した貴司さんは家の中に石を使用するという斬新なアイデアを目にし、自分の家にも取り入れたいと考えたそう。廊下に突如現れる石畳は落ち着いた和の雰囲気を漂わせ家を訪れる人の目に留まるといふ。同社の柔軟な対応力と貴司さんの遊び心が生み出した魅力的な仕りに注目!



ダイニングでくつろぐ二井上ファミリー。キッチンの背面の壁一面を利用した大容量の収納には電子レンジや炊飯器、鍋や食器などが収まっている。中の棚は可動式に。扉を閉めるといつでもすっきりと見えるので急な来客にも慌てずにすむそう。リビング側のキッチンは鏡にしたことでリビングに奥行きを感じさせる効果も

機能性と美しさにこだわりぬいて 家事効率のよい、自慢のキッチン

「この家で暮らしはじめて家事ストレスが大幅に軽減しました」と話す実咲さん。家事効率のアップに一役買っているのがL字型につながるダイニングとリビングの中央に配置したキッチンです。リビング、ダイニングのどちらにも最短距離で移動できるほか、キッチンとダイニングテーブルを一体化し一列につなげたことで料理・配膳・片付けまでの一連の流れがとてスムーズに。リビング全体に目が届くので家族とコミュニケーションを取りながら料理に取り組めるのも魅力です。さらに、インテリアへの思い入れも強い二井上夫妻にと、担当スタッフが



木目が美しいウォールナットの扉、人工大理石のワークトップに、グレーミラーという3つの異素材で造作した、フルオーダーのシステムキッチン。インテリア性が高く、上品でありながら存在感を放っている

家具や床の素材感とマッチするウォールナット仕様を提案。何度も打ち合わせをし、試行錯誤を重ねて完成にたどり着いたとか。そんなこだわりのキッチンは色、サイズ、シンクからつながるダイニングテーブルまで、完全オーダーメイド。スタッフとの信頼関係、イメージをカタチにできる同社の技術で実現したオンラインワンのキッチンです。納得できる家づくりを終えた二井上夫妻からは「家族と同じ目線で一緒に考え、家づくりを楽しんでくれたスタッフの存在が大きかった」との言葉が。熱意あふれるスタッフが細やかにサポートする岸建工で、オリジナルテイーあふれるマイホームへの一歩を踏み出してみませんか。